

# 令和5年度 第1回 四街道市地域包括支援センター運営等協議会

令和5年7月19日（水）19：00～  
四街道市保健センター 3階 大会議室

## 会議次第

1. 開 会
  - ① 福祉サービス部長あいさつ
  - ② 委員・職員紹介
  - ③ 会長・副会長選出
2. 議 事
  - ① 令和4年度地域包括支援センター事業報告及び決算（報告）
  - ② 令和4年度認知症初期集中支援チームの活動報告（報告）
  - ③ 予防プラン再委託事業所の承認報告
  - ④ その他
    - (1) 健康とくらしの調査結果報告
    - (2) 基幹型地域包括支援センターの名称検討について
3. 閉 会

令和5年度 第1回  
四街道市地域包括支援センター運営等協議会資料

令和4年度事業報告

令和5年 7月  
四街道市 福祉サービス部 高齢者支援課

【組織・運営体制等】

- ・事業計画の策定
- ・職員の姿勢
- ・職員のスキルアップ
- ・きめ細やかな相談支援、記録の実施
- ・行政機関等との連携強化
- ・広報活動
- ・苦情対応
- ・個人情報の保護
- ・法令の遵守

令和4年度 市の方針		
<p>高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるようにするため、できる限り要介護状態にならないような予防対策から高齢者の状態に応じた介護サービスや医療サービスなどが切れ目なく提供される必要がある。このため、センターは地域の高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行う。</p>		
令和4年度 事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な相談に的確に応じられるよう、特に経験の浅い職員の育成に努めていく。</li> <li>・メンタルヘルスチェックの実施や個人面談を行い、不得意な業務についても可能な範囲で対応できるようスキルアップを図っていく。</li> <li>・地域包括支援センターの周知のために、イベント等の人が集まる場所を活用し、チラシの配布を行っていく。また、特に高齢者数の多い自治会や、日々の相談業務で困難事例が多いと感じる自治会などへは、役員会で周知させていただけるよう働きかけていく。</li> </ul>		
実績		
<p>【基幹型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が具体的に目標を立てた実施事業について、業務の考え方や取り組んでいく上での留意点等を面談を通して確認しながら実施。効果を共有して進めた。</li> <li>・ストレスチェックを行ったほか、面談を実施し、メンタル面の状況把握を行った。</li> <li>・相談に対応する職員が疲弊、孤立しないよう毎日、朝礼時に問題を共有する時間を設けた。</li> <li>・ソーシャルワークの基本を、社会福祉士の倫理綱領と行動規範を参考に、全職員で再確認した。</li> </ul>	<p>【みなみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼にて、ケースの共有をする中で、ケースの見立てや対応の仕方、その人らしさの支援、個人情報取り扱いなど、その都度確認し合い、日々の中で職員のスキルや意識向上を図った。</li> <li>・苦手分野については、職員2名体制で対応することで対応力の向上を図った。</li> <li>・メンタルヘルスチェックや個人面談、研修などを行い、職員のメンタルケアやモチベーションの維持、働きやすい環境作りを行った。</li> <li>・センターの周知として、民生委員の定例会や地区社会福祉協議会の集まり、高齢者の集いの場への出前講座を積極的に行い、気軽に相談できることを周知した。</li> <li>・自治会役員会での周知は、認知症高齢者の見守り対応で連携した自治会役員会(1か所)でセンターについて講話することができた。</li> </ul>	<p>【千代田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設のセンターであり、包括業務の未経験者が多く、知識不足は否めないが、個々の意識は高く、職員間で声を掛け合い、情報交換することで互いに補い合いながら、積極的に業務に取り組んだ。</li> <li>・センターの周知に関しては、開所前から、地区社協や自治会、民生委員の集まりに挨拶に行き、12月末には内覧会を行うなど、周知に努めた。</li> <li>・相談援助では丁寧な聞き取りをするよう努め、気になったケースについてはお互いに報告し合い適切な対応であったかの確認を行った。また、報告する過程で職員自身が気づき、ステップアップに向けて自ら行動できるような環境づくりを行っている。</li> </ul>

【総合相談支援業務】

- ・ネットワーク構築
- ・実態把握
- ・総合相談支援
- ・介護家族への相談支援
- ・地域共生社会の観点に立った包括的な支援の実施

令和4年度 市の方針		
<p>総合相談支援業務は、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。</p>		
令和4年度 事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のネットワーク構築に向け、民生委員、自治会、各地区のシニアクラブ等と顔の見える関係づくりを行う。</li> <li>・各地区のシニアクラブ、自治会等の研修等において地域包括支援センターの周知を継続する。</li> <li>・多職種と共に出張相談を実施することで、地域住民と専門職とのネットワークを構築する。</li> <li>・介護家族からの相談に対し個別相談、団体支援を継続して行う。</li> </ul>		
実績		
<p>【基幹型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協(西中B・北中地区)の活動拠点において、地区の関係者や専門職による地域のネットワーク活動に参加し、顔の見える関係作りや出張相談の場とした。</li> <li>・地域住民、民生委員、各地区のシニアクラブ、高齢者大学等を対象に各種講座を開催し、健康づくりや介護保険その他各制度の説明、啓発を行うとともに、包括の周知を行った。</li> <li>・多問題家族の支援は、包括から声掛けをし、他機関とのカンファレンスを開催して支援方針を共有し、世帯単位で支援が考えられるよう調整を行った。</li> </ul>	<p>【みなみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同時期と比べ、相談者の実人数は月平均6.3人増加。相談内容は、介護・日常に関する相談や、サービス利用に関する相談が増えた。対応については、相談対応が増えた分、支援後の確認やフォローの件数が減り、目の前の相談に追われる傾向にあった。</li> <li>・民生委員の改選があったため、センターの周知を積極的に行った。</li> </ul>	<p>【千代田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設に伴う関係団体への挨拶は完了しており、昨年末には内覧会を開催して顔の見える関係づくりを行った。</li> <li>・相談業務の中では介護保険サービスのみではなく、既存の事業やサークル等の情報提供を行い、適切なサービス利用につなげるよう支援した。</li> <li>・地域で行われる福祉講座での講話を依頼されるなど千代田包括が浸透しつつある。また、相談者が「みんな知らないと思うから教えてあげる」と口コミによる周知が広がっている。</li> </ul>

【市全体の相談件数等の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護・日常生活に関する相談	1,856 件	2,079 件	2,507 件
（基幹型）	1,067 件	1,248 件	1,254 件
（みなみ）	789 件	831 件	1,013 件
（千代田）			240 件
サービス利用に関する相談	792 件	770 件	1,048 件
（基幹型）	420 件	497 件	570 件
（みなみ）	372 件	273 件	315 件
（千代田）			163 件
権利擁護に関する相談	134 件	134 件	158 件
（基幹型）	87 件	74 件	83 件
（みなみ）	47 件	60 件	51 件
（千代田）			24 件
医療に関する相談	240 件	220 件	294 件
（基幹型）	143 件	142 件	130 件
（みなみ）	97 件	78 件	114 件
（千代田）			50 件
所得・家庭生活に関する相談	216 件	187 件	162 件
（基幹型）	101 件	95 件	70 件
（みなみ）	115 件	92 件	84 件
（千代田）			8 件
障害福祉に関する相談	6 件	11 件	8 件
（基幹型）	0 件	3 件	0 件
（みなみ）	6 件	8 件	4 件
（千代田）			4 件
苦情相談	20 件	36 件	45 件
（基幹型）	14 件	34 件	27 件
（みなみ）	6 件	2 件	8 件
（千代田）			10 件
安否確認	33 件	46 件	52 件
（基幹型）	21 件	32 件	31 件
（みなみ）	12 件	14 件	12 件
（千代田）			9 件
その他	523 件	608 件	505 件
（基幹型）	298 件	256 件	126 件
（みなみ）	225 件	352 件	328 件
（千代田）			51 件
計	3,820 件	4,091 件	4,779 件

介護者のつどい「虹の会」	5 回 59 人	6 回 89 人	11 回 130 人
男の介護を語ろう会	5 回 32 人	8 回 43 人	10 回 67 人

※ 人数については、参加者数となっています。

出張相談	実施しましたが、集計していません	25 回 25 人
（基幹型）		11 回 1 人
（みなみ）		14 回 24 人
（千代田）		0 回 0 人

※ 人数については、相談者数となっています。

【権利擁護業務】

- ・成年後見制度の活用促進
- ・老人福祉施設等への措置の支援
- ・高齢者虐待への対応
- ・困難事例への対応
- ・高齢者虐待防止ネットワークの構築
- ・消費者被害の防止

令和4年度 市の方針

権利擁護業務は、地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のために必要な支援を行う。

令和4年度 事業計画

- ・成年後見制度の利用促進につながる講座やパンフレットの配布等を行い、制度の周知を行う。また、専門職が簡単な助言を行えるようにしていくことで、利用促進に繋げていく。
- ・虐待については、コロナ禍でのサービス利用控えや家族の収入減少などにより発生リスクも高まっている可能性があることから、民生委員をはじめとした関係者や地域住民の理解促進とネットワークの構築を図っていく。
- ・引き続き、虐待防止ネットワーク会議を行う。また、令和3年度介護報酬の改定に伴い各サービスの基準省令が改正され、令和6年4月1日までに各サービス事業所が虐待防止のための対策を検討する委員会設置や指針整備、虐待防止のための研修等を行う必要があることから、事業所に情報提供や助言が行えるよう準備していく。
- ・消費生活センターや警察との連携も大切なことから、顔合わせや被害の情報共有などを行っていく。

実績

【基幹型】

・地区民協(西中A、西中B、千代田)の会議に出向き、成年後見制度の説明と、制度利用に関するチェックシートの配布を行った。  
 ・前年度に対応を行った3つのケースを振り返り、共有会議の意義や役割を学ぶ虐待対応内部研修(8/18、8/25)を実施した。  
 ・西中B地区のふれあい交流会で詐欺防止の講話を行った  
 ・詐欺被害に関する個別相談や他事業所からの情報を市内居宅介護支援事業所等に一斉配信するなど、詐欺被害の防止に努めた。

【みなみ】

・成年後見制度を知りたい方や、検討している方への情報提供と相談対応を行った。また、出前講座を通して、地域住民への周知を行った。  
 ・成年後見団体との情報交換会を通して、相談対応のポイントを学び、連携しやすい関係づくりを行った。  
 ・高齢者虐待に関しては、通報があった場合は速やかに対応し、また、相談の段階で気になるケースは早めに介入し対応を行った。  
 ・予防としては、地域への出前講座等の場面で、高齢者の虐待について説明をする等を行った。  
 ・今年度は、消費者被害を防止するための啓発に力を入れ、出前講座を行った。(6箇所142名参加)消費生活センターからの情報をもとに地域で講話を行い、被害に合わないよう手口の説明や断り方を実際に練習し、注意喚起を図り、日頃から仲間で情報交換もするよう勧めた。

【千代田】

・虐待に関しては、引き継いだケースの対応を適宜行った。また、虐待防止ネットワーク会議研修会等に参加し、適切な対応ができるよう職員のスキルアップに努めた。  
 ・権利擁護に関する相談に対して、消費生活センターや警察、成年後見団体と顔の見える関係の構築に努めた。

【全包括協働で行ったこと】

- ・地域住民向けに成年後見制度講演会(任意後見人について)を開催し、制度の理解促進を行った。
- ・虐待防止ネットワーク会議研修会を開催し、関係機関の理解促進を行った。
- ・連携と情報交換を行いやすくするため、消費生活センターとの顔合わせを行った。

【市全体の実施状況の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
虐待防止ネットワーク会議	中止	1回 63人	1回 58人
虐待防止事例検討会	1回 8人	1回 6人	0回 0人
緊急対策部会	23回 7人	11回 5人	43回 14人
(基幹型)	23回 7人	9回 4人	31回 10人
(みなみ)	0回 0人	2回 1人	10回 4人
(千代田)			2回 0人
消費者被害防止講座	0回 0人	0回 0人	8回 284人
成年後見研修	中止	1回 33人	2回 88人

※ 人数については、「緊急対策部会」が対象者数、それ以外が参加者数となっています。

【介護予防ケアマネジメント業務(総合事業のケアマネジメント)】

- ・要支援状態になる可能性の高い高齢者を早期に把握し、アセスメントを行い、目標設定する。
- ・介護予防の取り組みを生活の中に取り入れ、自ら実施、評価できるように支援する

令和4年度 市の方針

介護予防ケアマネジメント業務は、要支援・要介護状態になる可能性の高い高齢者を早期に把握し、要介護状態等となることを予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることが出来るよう支援する。

令和4年度 事業計画

- ・自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントのため、基本チェックリストを活用した意識づけや、一般介護予防事業、インフォーマルサービスの積極的な活用を行っていく。
- ・高齢者が介護予防に自ら取り組むことができるよう、意欲の向上や取り組みの支援に活用できるツールの作成を行い、相談時に統一した対応が取れるようにする。
- ・地域活動やボランティア活動などの社会参加が介護予防につながることにについて、地域住民が集う機会を利用して周知を行う。

実績

<p>【基幹型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インテーク面接を丁寧に行うとともに、地域で自分らしく生活ができるよう関係者とのネットワークを構築し、連携しながら相談支援を行った。</li> <li>・利用者基本情報、興味・関心チェックシートを加筆修正するとともに、目標達成度を確認できる「達成チェックシート」を作成した。</li> <li>・相談時にインフォーマルサービスの情報提供がスムーズに行えるよう地図に記載して見える化し、包括内で共有した。</li> </ul>	<p>【みなみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会やサロンなどへの出前講座を積極的に行った。介護予防の講話や体操を行い(14回245人)高齢者自身が自分の状態を把握し、日頃行うと良い体操などを周知し、介護予防について意識づけを行った。特に、高齢者にとって、介護予防の意識が低い、口腔や栄養についての講話や実践を取り入れ周知した。</li> <li>・日々の総合相談の中でも、サロンや週いち貯筋体操等への参加などを提案し、地域の中で介護予防ができるよう、意識して情報提供を行った。</li> </ul>	<p>【千代田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談の中で、必要時にはチェックリストを活用し、地域の貯筋体操や集まりを紹介した。</li> <li>・本人の状況や意思に応じて、適切で効果的なサービス利用につながるよう努めた。</li> <li>・インフォーマルサービスの新しい情報については、センター内での情報共有に努め、必要な場面で情報提供できるようにした。</li> </ul>
<p>【全包括協働で行ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の状況や介護予防の考え方などについて8月、12月、3月の3回、市、3包括、市内リハビリ職と話し合いの機会を設けた。個別支援を通し、今後取り組むべき課題の抽出や連携について意見交換を行った。</li> </ul>		

【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】

- ・包括的・継続的なケア体制の構築
- ・地域における介護支援専門員のネットワークの活用
- ・介護支援専門員に対する支援

<b>令和4年度 市の方針</b>		
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務は、高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい暮らしを続けることができるよう、地域における関係機関や多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。		
<b>令和4年度 事業計画</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員が、包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるよう情報の共有や意見交換、多職種協働により連携体制の推進を図る。</li> <li>・介護支援専門員同士のネットワーク強化のため、ケアマネ協議会の活動支援を行う。</li> <li>・ケアマネ協議会やヘルパー協議会、デイサービス・デイケア協議会などの介護事業所の団体との連携を図り、気軽に相談できるような関係づくりを進めていく。</li> </ul>		
<b>実績</b>		
<p><b>【基幹型】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員からの相談事例に対し、頻回にカンファレンスの機会を設け、アセスメント力や対応力の強化を図れるよう後方支援を行った。</li> <li>・訪問介護事業者連絡協議会の役員会に参加し関係強化を図った。</li> </ul>	<p><b>【みなみ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の困難事例について、介護支援専門員や介護サービス事業所からの相談を受け、助言やケース検討、同行訪問などを行い、解決に向けての支援を行った。</li> <li>・訪問介護事業者連絡協議会と連携し、みそら地区にて地域住民に介護の仕方教室を行った。</li> </ul>	<p><b>【千代田】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防プラン委託業務を通じて、包括支援センター新設の周知を行った。</li> <li>・現段階では、会議への出席を行い、顔の見える関係を構築するよう努めた。</li> <li>・介護支援専門員からの個別ケース相談を通して、問題ケースの把握をするとともに、介護支援専門員に対しての助言が出来るように努めた。</li> <li>介護支援専門員が相談しやすいようなセンターの雰囲気づくり、環境づくりを心掛けた。</li> </ul>
<p><b>【全包括協働で行ったこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員同志の連携強化や情報の共有、スキルアップの後方支援として主任ケアマネジャー連絡会、ケアマネジャー協議会に参加し、行政からの情報提供や活動の支援を実施した。</li> <li>・主任ケアマネ連絡会はオンラインで毎月開催した。地域のケアマネが顔を合わせる機会を作れており、課題の共有や情報提供、解決に向けて話し合うことができた。今年度も事例検討会をオンラインで2回開催できた。</li> <li>・ケアマネ協議会も毎月定期開催できており、オンライン開催の支援をした。今年度も2回、研修会を開催した。</li> </ul>		

【市全体の実施件数等の推移】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
ケアマネジャー協議会	8	73	10	97	12	132
主任ケアマネジャー連絡会	8	97	8	113	8	135

※ 人数については、参加者数となっています。



令和4年度 地域包括支援センター 実績

【地域ケア会議推進業務】

- ・医療・介護の専門職、民生委員等の多職種が参加する会議を行う
- ・地域づくり、社会資源の開発等へつなげることを目的として行う

令和4年度 市の方針		
<p>地域包括支援センターは、個別課題の解決のため、包括的支援事業を効率的・効果的に行うとともに、多職種で個別ケースの課題解決へ向けた支援内容を検討することを通じ、地域づくり、社会資源の開発、政策形成へつなげることを目的として地域ケア会議を行う。</p> <p>個別ケースの検討にあたっては、必ずしも直接のサービス提供に関わっていない第三者を含めた医療、介護等の専門職、民生委員、NPO法人、自治会、社会福祉法人、ボランティア等多職種の者が協働する場とする。</p>		
令和4年度 事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント、指定介護予防とも絡むが、引き続き自立支援のための地域ケア会議を開催し、参加者の理解を深め、自立支援・重度化防止を推進する。また、より多くの介護事業所の参加が得られるように周知していく。</li> <li>・引き続き個別地域ケア会議を開催し、介護等が必要な高齢者を地域全体で支援していけるような地域づくりを推進する。</li> <li>・抽出した地域課題は、生活支援コーディネーターと共に、課題解決に向けた地域への働きかけを行う。</li> </ul>		
実績		
<p>【基幹型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別地域ケア会議を4回開催した。認知症などにより孤立傾向にある対象者の地域での見守りについて検討できた。また、地域課題についても抽出し、生活支援コーディネーターと情報共有することができた。</li> <li>・地域での見守り体制を構築できた地域では、他の一般住民にも同じような対応が必要であることが共有でき、地域の見守りに対する視点が変わった。</li> </ul>	<p>【みなみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別地域ケア会議を12回開催した。参加者にとっては、地域で高齢者を見守る体制作りや地域住民の介護や健康に対する意識の向上につながった。後日、参加者からの発信で、地域サロンでの福祉講話の開催が行えた。</li> </ul>	<p>【千代田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別地域ケア会議について、独自で開催することはなかったが、引継ぎの過程で会議に参加し、その後の経過観察を行った。</li> <li>・地域ケア会議開催に向けて、センター内で情報共有を行った。</li> <li>・地域の介護支援専門員や地域住民から情報収集を行い、地域では住民同士が連携し、見守りなどの支援を行っていることが把握できた。地域との連携により必要時に個別地域ケア会議を開催できるよう努めた。</li> </ul>
<p>【全包括協働で行ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援のための地域ケア会議を計画通り年4回、定期開催できた。オンライン開催のため毎回、20～30名程度の傍聴参加があり、専門職間のネットワーク作りや、自立支援の視点について伝えることができた。</li> </ul>		

【市全体の実施件数等の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域ケア会議(個別)	8 回 49 人	12 回 68 人	16 回 101 人
(基幹型)	6 回 41 人	5 回 33 人	4 回 37 人
(みなみ)	2 回 8 人	7 回 35 人	12 回 64 人
(千代田)			0 回 0 人
地域ケア会議(自立支援型)	1 回 12 人	4 回 137 人	4 回 145 人

※ 人数については、会議の参加者数となっています。(自立支援型は傍聴者も含みます)

【指定介護予防支援業務】

- ・特定のサービス事業所に偏らず事業ができています
- ・適切なプランが立てられている

令和4年度 市の方針		
指定介護予防支援は、介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことが出来るよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行う。		
令和4年度 事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、自立支援のための地域ケア会議へ参加したり、包括内で事例検討を行うことで、介護予防・重度化防止に資するプラン作成を行っていく。</li> <li>・利用者のアセスメントを適切に行い、サービスに依存せずに地域で生活が継続できるよう、インフォーマルサービスも活用したプラン作成を行う。</li> </ul>		
実績		
<p>【基幹型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスに依存せず、自身の生活の中にインフォーマルサービスを取り入れる視点を持ってもらえるよう、包括内でのミーティングを利用し、ケースの共有を行った。</li> <li>・介護保険サービス利用終了者には週いち貯筋体操、オレンジカフェ、サロンなどの参加を働きかけた。</li> </ul>	<p>【みなみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険のサービスだけではなく、インフォーマルサービスや地域の社会資源につなげた。できる力を引き出す、活躍の場を見出す視点を持って支援した。そのことをセンター内で共有することに力を入れた結果、利用者が地域の活動に参加できたり、利用者家族（高齢者）がボランティア活動を行うようつなげることができた。</li> </ul>	<p>【千代田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎを受けたケースに関して、利用者に不都合がないよう円滑な移行ができるよう努めた。</li> <li>・委託プランについては、契約を行う過程でプランの確認を行った。</li> <li>・介護保険サービスは自立支援サービスであることを包括内で共有した。利用者本人が自分で出来ることに着目し、介護保険以外のサービスを利用する事で持っている力を発揮できるようなプラン作成に努めた。</li> </ul>

【市全体の作成件数の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援者等に対する予防プラン作成人数	5,726 件	5,742 件	5,814 件
（基幹型）	3,151 件	3,037 件	2,793 件
（みなみ）	2,575 件	2,705 件	2,795 件
（千代田）			226 件
再委託事業所作成数	3,500 件	3,770 件	3,990 件
（基幹型）	2,693 件	2,807 件	2,728 件
（みなみ）	807 件	963 件	1,114 件
（千代田）			148 件
委託率	37.9 %	39.6 %	40.7 %

【認知症地域支援・ケア向上事業】

- ・関係機関との連携
- ・地域の体制づくり
- ・当事者への支援

【認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業】

- ・チームオレンジの整備、運営支援
- ・ステップアップ講座を受講した認知症サポーターの活用
- ・当事者、家族が参画しやすい環境整備

令和4年度 市の方針

【認知症地域支援・ケア向上事業】

認知症地域支援・ケア向上事業では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続するために、医療・介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、効果的な支援を行う。そのため「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」の推進を図ることを念頭に置き、地域における認知症の人とその家族を支える仕組みづくりについて、認知症初期集中支援チームと連携し、市等と協働して取組を推進する。

【認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業】

市等と協働し、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み(チームオレンジ)を地域ごとに整備し、認知症施策推進大綱(令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定)に掲げた「共生」の地域づくりを推進する。

令和4年度 事業計画

- ・千葉県若年性認知症コーディネーターとの連携を深める。
- ・当事者や家族が参加しやすいカフェ運営と主体的な運営継続のための働きかけを行う。
- ・市内開催の認知症カフェについて「カフェ通信」を発行し、参加しやすい情報発信を行う。
- ・一般公募による認知症サポーター養成講座を開催する。
- ・認知症サポーター養成講座受講者、すでにオレンジボランティアとして参加している対象者にステップアップ講座やボランティアミーティングを受講いただき、地域の支え合い活動を促進する。
- ・児童への認知症理解の促進のため、認知症サポーター養成講座を開催する。
- ・認知症高齢者による交通事故を未然に防止するため、安全(免許返納も含めた)のためのパンフレットを配布する。
- ・認知症により家に帰れなくなった高齢者ができるだけ早く自宅へ帰れるよう、当事者や家族へ「どこシル伝言板」を周知するとともに、発見する側の市民への周知も行っていく。

実績

【基幹型】

・認知症の相談に対し、介護保険サービスのみならず、地域住民の理解促進やオレンジボランティアとのマッチングを行うため、地域ケア会議の開催を経て、チームオレンジを構築した。  
・認知症の方と家族の安心のため、専門職やボランティアと協働しオレンジカフェを開催した。  
・ボランティアセンターと協働し、オレンジボランティアの活動支援を行った。

【みなみ】

・オレンジカフェを年4回から6回に増やしたが、コロナ感染症のため1回は中止となった。参加者は、新規の方も徐々に増え、先輩参加者が新たな参加者の悩みを聞いたり、助言したりといった当事者同士で支えあう動き(ピアサポート)ができた。  
・オレンジカフェを支えるボランティア活動も定着してきた。

【千代田】

・基幹型から引き継いだオレンジカフェちよだを継続した。  
・認知症に関する個別ケースの把握を行い、ケースの状況に応じた対応を検討した。  
・困難事例や対応を拒否しているケースへ繰り返し訪問を行うことにより、信頼関係を構築できるよう努めた。

【全包括協働で行ったこと】

四街道警察署交通課との情報交換では、高齢者の運転と免許返納について情報交換を行い、運転についての考え方を学び、今後、危険運転をされる方の相談の仕方について確認ができた。

【市全体の実施件数等の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認知症に関する相談	482 件	481 件	553 件
（基幹型）	275 件	312 件	306 件
（みなみ）	207 件	169 件	198 件
（千代田）			49 件
認知症サポーター養成講座	6 回 130 人	6 回 98 人	14 回 230 人
（基幹型）	6 回 130 人	3 回 42 人	10 回 164 人
（みなみ）		3 回 56 人	4 回 66 人
（千代田）			0 回 0 人
認知症サポーターステップアップ講座	1 回 18 人	中止	3 回 51 人
（基幹型）	合同実施		1 回 23 人
（みなみ）			2 回 28 人
（千代田）			0 回 0 人
認知症サポーターボランティアミーティング	中止	2 回 10 人	3 回 29 人
（基幹型）		1 回 8 人	1 回 16 人
（みなみ）		1 回 2 人	2 回 13 人
（千代田）			0 回 0 人
認知症に関する市民向け講座	中止	中止	2 回 30 人
オレンジカフェ	12 回 179 人	21 回 243 人	40 回 450 人
（基幹型）	10 回 146 人	18 回 197 人	32 回 320 人
（みなみ）	2 回 33 人	3 回 46 人	5 回 94 人
（千代田）			3 回 36 人
キャラバン・メイト連絡会	通信を1回発行	事務連絡通知	1 回 14 人

※ 人数については、参加者数となっています。

【認知症初期集中支援推進事業】 基幹型のみ

- ・支援チームと医療関係者との連携
- ・支援チームに関する普及啓発
- ・認知症初期集中支援の実施

令和4年度 市の方針
認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を整備する。
令和4年度 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症相談と初期集中支援チーム啓発のためのチラシを作成し、医療機関に配布する。</li> <li>・市民へ認知症相談と初期集中支援チームの啓発を行うため、年3回の普及啓発講座を開催する。</li> <li>・支援対象者に十分な説明を行い集中的な支援を実施する。</li> </ul>
実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症早期の相談を促進するため、市内の神経内科を有する病院にチームの啓発を行い、連携を深めた。</li> <li>・認知症とチームの啓発促進のため、普及啓発講座を3回(オンライン・桜ヶ丘中央区・わろうべの里)開催した。</li> <li>・各包括支援センターから相談を受け、支援対象とした本人、家族に対し、医療と連携を図るなど支援体制を構築し、早期の課題解決を図った。</li> </ul>

【市全体の事業実施等の推移】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
認知症初期集中支援チーム員会議	16	9 人	13	14 人	14	22 人
認知症初期集中支援チーム 普及啓発事業	2	26 人	3	49 人	3	42 人

※ 人数については、「認知症初期集中支援チーム員会議」が対象者数、「普及啓発事業」が参加者数となっています。

【生活支援体制整備事業】 基幹型のみ

- ・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- ・地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ
- ・関係者のネットワーク化
- ・目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一
- ・生活支援の担い手養成やサービスの開発

令和4年度 市の方針
<p>単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的にしている。</p> <p>地域包括支援センターは、生活支援コーディネーターと連携するとともに、必要な会議への参加、市民への普及啓発等、市と協働して取組を推進する。</p>
令和4年度 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・四街道市地域支えあい推進会議(第1層協議体)を、市内全域の情報共有を行う全体会と、地域課題の解決に向け議論する分科会に分けて実施していく。</li> <li>・第2層協議体未設置地区での協議体設置と、第2層生活支援コーディネーター未配置地区へのコーディネーター配置の方法を検討しながら進める。</li> <li>・支えあい活動の情報の発信(市政だより掲載・「支えあい通信」発行等)を行う。</li> <li>・企業、施設等への地域づくりに関する活動報告、情報発信を行う。</li> </ul>
実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのモデルケースを基に、官民一体的に課題解決に取り組み、市の目指す地域の姿、方針の共有意識の統一を図るための、四街道市地域支えあい推進会議(第1層協議体)を2回開催した。</li> <li>・チーム四中は、1年間の四中地区の支えあい活動実績により、R5.1.1に第2層生活支援コーディネーターが市から委嘱された。旭中学校地区は、2層協議体と生活支援コーディネーターの創設について打診した。</li> <li>・「支えあい通信」を2回発行し、「高齢者のための地域情報」の更新を行った。</li> <li>・情報共有と意見交換会の場として、「四街道の支えあい100人情報交換会」を2回開催した。</li> <li>・自治会等への情報発信や意見交換会等を実施するなどチームの活動により、地域の中でも特に支援のS(ちょっとした生活支援をするお助け隊)、参加のS(お茶のみサロンや介護予防運動などを行う集い)が増えた。</li> <li>・支えあい活動の広報による効果として、企業や福祉施設が地域貢献をしたいと申し出られることが増え、居場所の増加と充実ができた。</li> </ul>

【市全体の事業実施等の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
四街道市支えあい推進会議	2 回 36 人	3 回 64 人	2 回 39 人
地域でのワークショップ等の開催	4 回 104 人	2 回 45 人	14 回 208 人
支えあい通信の発行	4 回	2 回	2 回
100人情報交換会		1 回 133 人	2 回 219 人

※ 人数については、参加者数となっています。

【基幹型業務】 基幹型のみ

- ・包括間の連絡会の企画、立案、調整、実施に関すること(業種・業務別の開催、情報交換、研修など)
- ・市全域にかかわる事業の企画・立案・実施

令和4年度 市の方針
地域の課題や目標をセンター間で共有しながら、相互に連携し効果的に取り組みを推進するため、センター間の総合調整や介護予防のケアマネジメント及び地域ケア会議等の後方支援などを行う。
令和4年度 事業計画
市内全域を対象とした事業の方向性について市と検討して実施するとともに、各包括間の調整を図る。 ①介護事業所等の関係団体の連絡会・研修会の開催支援 ②専門職向け虐待防止に関する啓発、研修会の開催 ③自立支援のための地域ケア会議の運営 ④市民向け成年後見制度に関する研修会開催 ⑤共通する事業に関して地域型包括支援センター、市との連絡、調整
実績
・市内全域を対象とした以下の事業について、市及び地域型包括と協働で取り組む上で必要な連絡調整や企画・運営の取りまとめを行った。 ①虐待防止ネットワーク会議としての、介護支援専門員を中心とした専門職向け研修会 ②自立支援のための地域ケア会議(4回) ③成年後見制度の理解及び利用の促進を目的とした市民向け成年後見制度講演会 ・在宅医療・介護連携支援センターと4回会議を行い、医療と介護の連携ツール等について検討した。 ・社会福祉士については8回、市及び地域型包括との連携会議などを開催し、地域課題の分析、事業の方向性や実施方法の共有を図った。 ・ヘルパー協議会の役員会に参加した。(1回)

令和5年度 第1回

四街道市地域包括支援センター運営等協議会資料

令和4年度地域包括支援センター決算

令和5年7月

四街道市 福祉サービス部 高齢者支援課



## 【 目 次 】

四街道市地域包括支援センター	・ ・ ・ 1
みなみ地域包括支援センター	・ ・ ・ 6
千代田地域包括支援センター	・ ・ ・ 10

## 令和4年度 四街道市地域包括支援センター決算(総括)

### 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	72,969,194	72,969,194	71,472,910	△ 1,496,284
介護予防事業繰入金	836,088	836,088	159,085	△ 677,003
介護保険収入(プランナー)	14,839,704	13,337,561	11,442,726	△ 1,894,835
介護保険収入(専門職)	787,248	787,248	1,916,388	1,129,140
その他収入	1,482,340	1,482,340	539,444	△ 942,896
合計	90,914,574	89,412,431	85,530,553	△ 3,881,878

### 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	41,253,555	41,687,218	41,687,218	0
職員諸手当	8,255,934	8,259,405	7,693,611	565,794
法定福利費	14,240,718	14,219,656	13,066,112	1,153,544
臨時職員給与	17,771,089	16,120,767	15,937,650	183,117
福利厚生費	179,780	127,910	101,106	26,804
旅費交通費	84,400	54,400	4,400	50,000
負担金支出	41,000	41,000	41,000	0
諸謝金	645,000	491,663	363,000	128,663
消耗品費	455,472	404,928	243,401	161,527
車輛燃料費	228,200	240,232	239,838	394
食料費	7,120	7,575	6,607	968
印刷製本費	248,100	240,549	211,842	28,707
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	188,800	188,800	158,510	30,290
通信運搬費	1,006,890	1,063,368	975,951	87,417
手数料	31,360	31,622	26,762	4,860
業務委託費	1,972,208	1,972,208	1,406,122	566,086
賃借料	2,957,424	2,966,768	2,930,214	36,554
研修費	142,700	127,438	97,700	29,738
損害保険料	211,580	173,680	144,920	28,760
保健衛生費	11,292	11,292	7,304	3,988
公租公課費	33,400	33,400	28,200	5,200
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	836,088	836,088	159,085	677,003
予備費	112,464	112,464	0	112,464
計	90,914,574	89,412,431	85,530,553	3,881,878

## 令和4年度 四街道市地域包括支援センター決算(包括)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	46,432,555	46,432,555	46,432,555	0
介護予防事業繰入金	818,328	818,328	141,349	△ 676,979
合計	47,250,883	47,250,883	46,573,904	△ 676,979

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	26,420,129	26,720,405	26,720,405	0
職員諸手当	5,915,682	5,795,574	5,448,909	346,665
法定福利費	8,141,474	8,132,176	7,832,760	299,416
臨時職員給与	3,220,260	3,220,260	3,220,260	0
福利厚生費	113,180	61,310	57,154	4,156
旅費交通費	34,400	4,400	2,000	2,400
負担金支出	41,000	41,000	41,000	0
諸謝金	220,000	163,305	163,000	305
消耗品費	129,317	84,644	84,008	636
車輛燃料費	116,600	128,632	128,632	0
食料費	1,200	1,200	232	968
印刷製本費	151,055	139,023	133,301	5,722
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	98,800	98,800	95,095	3,705
通信運搬費	733,770	790,248	790,248	0
手数料	5,940	6,202	6,202	0
業務委託費	182,340	182,340	182,272	68
賃借料	1,495,656	1,504,446	1,503,892	554
研修費	76,700	61,438	52,400	9,038
損害保険料	128,470	90,570	88,830	1,740
保健衛生費	7,310	7,310	7,304	6
公租公課費	17,600	17,600	16,000	1,600
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	47,250,883	47,250,883	46,573,904	676,979

## 令和4年度 四街道市地域包括支援センター決算(認知)

### 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	13,543,242	13,543,242	12,992,732	△ 550,510
介護予防事業繰入金	8,880	8,880	8,868	△ 12
合計	13,552,122	13,552,122	13,001,600	△ 550,522

### 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	8,760,994	8,853,124	8,853,124	0
職員諸手当	1,370,367	1,345,767	1,126,638	219,129
法定福利費	2,473,237	2,466,088	2,301,301	164,787
臨時職員給与	0	0	0	0
福利厚生費	14,800	14,800	10,988	3,812
旅費交通費	10,400	10,400	400	10,000
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	350,000	290,000	200,000	90,000
消耗品費	73,285	68,186	30,106	38,080
車輛燃料費	0	0	0	0
食料費	480	496	496	0
印刷製本費	2,045	6,526	6,526	0
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
通信運搬費	6,720	6,720	0	6,720
手数料	0	0	0	0
業務委託費	52,088	52,088	52,076	12
賃借料	382,084	382,305	378,305	4,000
研修費	48,000	48,000	38,000	10,000
損害保険料	3,640	3,640	3,640	0
保健衛生費	3,982	3,982	0	3,982
公租公課費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	13,552,122	13,552,122	13,001,600	550,522

# 令和4年度 四街道市地域包括支援センター決算(生活支援)

## 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	12,993,397	12,993,397	12,047,623	△ 945,774
介護予防事業繰入金	8,880	8,880	8,868	△ 12
合計	13,002,277	13,002,277	12,056,491	△ 945,786

## 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	6,072,432	6,113,689	6,113,689	0
職員諸手当	969,885	1,118,064	1,118,064	0
法定福利費	1,834,510	1,829,895	1,740,767	89,128
臨時職員給与	1,983,488	1,835,309	1,710,507	124,802
福利厚生費	14,800	14,800	10,988	3,812
旅費交通費	18,800	18,800	2,000	16,800
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	75,000	38,358	0	38,358
消耗品費	234,590	234,151	128,589	105,562
車輛燃料費	0	0	0	0
食料費	5,440	5,879	5,879	0
印刷製本費	59,000	59,000	41,808	17,192
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
通信運搬費	75,600	75,600	0	75,600
手数料	0	0	0	0
業務委託費	1,492,088	1,492,088	1,052,076	440,012
賃借料	152,004	152,004	122,004	30,000
研修費	10,000	10,000	7,300	2,700
損害保険料	3,640	3,640	1,820	1,820
保健衛生費	0	0	0	0
公租公課費	1,000	1,000	1,000	0
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	13,002,277	13,002,277	12,056,491	945,786

## 令和4年度 四街道市地域包括支援センター決算(介護予防)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
介護保険収入 (プランナー)	14,839,704	13,337,561	11,442,726	△ 1,894,835
介護保険収入 (専門職)	787,248	787,248	1,916,388	1,129,140
その他収入	1,482,340	1,482,340	539,444	△ 942,896
合計	17,109,292	15,607,149	13,898,558	△ 1,708,591

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	0	0	0	0
職員諸手当	0	0	0	0
法定福利費	1,791,497	1,791,497	1,191,284	600,213
臨時職員給与	12,567,341	11,065,198	11,006,883	58,315
福利厚生費	37,000	37,000	21,976	15,024
旅費交通費	20,800	20,800	0	20,800
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	18,200	17,947	698	17,249
車輛燃料費	111,600	111,600	111,206	394
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	36,000	36,000	30,207	5,793
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	90,000	90,000	63,415	26,585
通信運搬費	190,800	190,800	185,703	5,097
手数料	25,420	25,420	20,560	4,860
業務委託費	245,692	245,692	119,698	125,994
賃借料	927,680	928,013	926,013	2,000
研修費	8,000	8,000	0	8,000
損害保険料	75,830	75,830	50,630	25,200
保健衛生費	0	0	0	0
公租公課費	14,800	14,800	11,200	3,600
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	836,088	836,088	159,085	677,003
予備費	112,464	112,464	0	112,464
計	17,109,212	15,607,149	13,898,558	1,708,591

令和4年度 みなみ地域包括支援センター決算(総括)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	37,436,007	37,436,007	32,075,698	△ 5,360,309
介護予防事業繰入金	825,768	825,768	300,420	△ 525,348
介護保険収入(プランナー)	13,125,960	13,125,960	12,822,216	△ 303,744
介護保険収入(専門職)	825,768	825,768	300,420	△ 525,348
合計	52,213,503	52,213,503	45,498,754	△ 6,714,749

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	24,588,800	24,588,800	18,579,873	6,008,927
職員諸手当	5,515,908	5,515,908	7,424,721	△ 1,908,813
法定福利費	6,925,193	6,925,193	5,527,915	1,397,278
臨時職員給与	10,317,378	10,317,378	8,885,820	1,431,558
福利厚生費	60,300	60,300	91,183	△ 30,883
旅費交通費	7,000	7,000	0	7,000
負担金支出	1,000	1,000	1,000	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	82,895	82,895	69,622	13,273
車輛燃料費	194,550	194,550	122,747	71,803
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	97,680	97,680	119,376	△ 21,696
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	169,000	169,000	141,225	27,775
通信運搬費	556,200	556,200	575,662	△ 19,462
手数料	7,920	7,920	16,942	△ 9,022
業務委託費	29,700	29,700	29,700	0
賃借料	1,441,951	1,441,951	1,352,600	89,351
研修費	63,000	63,000	130,420	△ 67,420
損害保険料	342,880	342,880	328,826	14,054
保健衛生費	124,612	124,612	34,500	90,112
公租公課費	36,000	36,000	35,200	800
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	825,768	825,768	300,420	525,348
予備費	825,768	825,768	1,731,002	△ 905,234
計	52,213,503	52,213,503	45,498,754	6,714,749

## 令和4年度 みなみ地域包括支援センター決算(包括)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	31,500,575	31,500,575	26,212,799	△ 5,287,776
介護予防事業繰入金	825,768	825,768	300,420	△ 525,348
合計	32,326,343	32,326,343	26,513,219	△ 5,813,124

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	20,638,000	20,638,000	14,667,386	5,970,614
職員諸手当	4,930,908	4,930,908	6,001,003	△ 1,070,095
法定福利費	4,925,010	4,925,010	4,061,071	863,939
臨時職員給与	0	0	0	0
福利厚生費	36,500	36,500	31,064	5,436
旅費交通費	1,000	1,000	0	1,000
負担金支出	1,000	1,000	1,000	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	40,773	40,773	47,744	△ 6,971
車輛燃料費	104,250	104,250	62,457	41,793
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	44,640	44,640	55,162	△ 10,522
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	84,500	84,500	74,532	9,968
通信運搬費	412,296	412,296	442,416	△ 30,120
手数料	4,400	4,400	2,727	1,673
業務委託費	14,850	14,850	14,850	0
賃借料	832,103	832,103	776,600	55,503
研修費	10,000	10,000	57,800	△ 47,800
損害保険料	169,240	169,240	177,447	△ 8,207
保健衛生費	64,273	64,273	15,960	48,313
公租公課費	12,600	12,600	24,000	△ 11,400
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	32,326,343	32,326,343	26,513,219	5,813,124



# 令和4年度 みなみ地域包括支援センター決算(認知)

## 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	5,935,432	5,935,432	5,862,899	△ 72,533
合計	5,935,432	5,935,432	5,862,899	△ 72,533

## 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	3,950,800	3,950,800	3,912,487	38,313
職員諸手当	585,000	585,000	559,161	25,839
法定福利費	877,606	877,606	907,155	△ 29,549
臨時職員給与	0	0	0	0
福利厚生費	7,300	7,300	8,716	△ 1,416
旅費交通費	3,600	3,600	0	3,600
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	16,906	16,906	13,314	3,592
車輛燃料費	34,750	34,750	28,664	6,086
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	15,840	15,840	19,098	△ 3,258
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	28,500	28,500	17,655	10,845
通信運搬費	114,264	114,264	104,013	10,251
手数料	880	880	440	440
業務委託費	4,950	4,950	4,950	0
賃借料	164,814	164,814	185,680	△ 20,866
研修費	38,000	38,000	38,000	0
損害保険料	53,480	53,480	51,186	2,294
保健衛生費	34,542	34,542	7,980	26,562
公租公課費	4,200	4,200	4,400	△ 200
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	5,935,432	5,935,432	5,862,899	72,533

## 令和4年度 みなみ地域包括支援センター決算(介護予防)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
介護保険収入 (プランナー)	13,125,960	13,125,960	12,822,216	△ 303,744
介護保険収入 (専門職)	825,768	825,768	300,420	△ 525,348
合計	13,951,728	13,951,728	13,122,636	△ 829,092

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	0	0	0	0
職員諸手当	0	0	0	0
法定福利費	1,122,577	1,122,577	1,424,246	△ 301,669
臨時職員給与	10,317,378	10,317,378	8,885,820	1,431,558
福利厚生費	16,500	16,500	51,403	△ 34,903
旅費交通費	2,400	2,400	0	2,400
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	25,216	25,216	8,564	16,652
車輛燃料費	55,550	55,550	31,626	23,924
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	37,200	37,200	45,116	△ 7,916
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	56,000	56,000	49,038	6,962
通信運搬費	29,640	29,640	29,233	407
手数料	2,640	2,640	13,775	△ 11,135
業務委託費	9,900	9,900	9,900	0
賃借料	445,034	445,034	390,320	54,714
研修費	15,000	15,000	34,620	△ 19,620
損害保険料	120,160	120,160	100,193	19,967
保健衛生費	25,797	25,797	10,560	15,237
公租公課費	19,200	19,200	6,800	12,400
備品購入費	0	0	0	0
繰出金	825,768	825,768	300,420	525,348
予備費	825,768	825,768	1,731,002	△ 905,234
計	13,951,728	13,951,728	13,122,636	829,092

令和4年度 千代田地域包括支援センター決算(総括)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	15,796,733	15,796,733	11,440,891	△ 4,355,842
介護予防事業繰入金	0	0	257,544	257,544
介護保険収入 (プランナー)	1,954,863	1,954,836	1,135,518	△ 819,318
介護保険収入 (専門職)	0	0	257,544	257,544
他事業繰入金	0	0	2,460,326	2,460,326
合計	17,751,596	17,751,569	15,551,823	△ 2,199,746

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	7,435,000	7,435,000	4,135,200	3,299,800
職員諸手当	3,150,000	3,150,000	2,719,622	430,378
法定福利費	1,693,600	1,693,600	1,227,198	466,402
臨時職員給与	0	0	1,451,363	△ 1,451,363
福利厚生費	55,250	55,250	31,140	24,110
旅費交通費	179,400	179,400	177,034	2,366
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	283,490	283,490	337,691	△ 54,201
車輛燃料費	74,700	74,700	48,751	25,949
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	59,500	59,500	32,318	27,182
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	22,240	22,240	0	22,240
通信運搬費	195,100	195,100	184,945	10,155
手数料	282,150	282,150	1,223,420	△ 941,270
業務委託費	0	0	0	0
賃借料	727,384	727,384	584,540	142,844
研修費	90,400	90,400	41,500	48,900
損害保険料	29,050	29,050	5,800	23,250
保健衛生費	167,705	167,705	102,341	65,364
公租公課費	0	0	3,200	△ 3,200
備品購入費	3,297,650	3,297,650	2,988,216	309,434
繰出金	0	0	257,544	△ 257,544
予備費	8,950	8,950	0	8,950
計	17,751,569	17,751,569	15,551,823	2,199,746

## 令和4年度 千代田地域包括支援センター決算(包括)

### 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	11,861,265	11,861,265	8,669,307	△ 3,191,958
介護予防事業繰入金	0	0	257,544	257,544
合計	11,861,265	11,861,265	8,926,851	△ 2,934,414

### 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	4,870,000	4,870,000	3,080,000	1,790,000
職員諸手当	2,076,000	2,076,000	1,695,036	380,964
法定福利費	1,111,360	1,111,360	753,031	358,329
臨時職員給与		0	105,350	△ 105,350
福利厚生費	12,000	12,000	20,680	△ 8,680
旅費交通費	133,800	133,800	112,184	21,616
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	202,980	202,980	202,922	58
車輛燃料費	39,840	39,840	29,251	10,589
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	32,000	32,000	19,391	12,609
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	16,680	16,680	0	16,680
通信運搬費	130,800	130,800	108,784	22,016
手数料	168,300	168,300	152,559	15,741
業務委託費	0	0	0	0
賃借料	415,808	415,808	350,724	65,084
研修費	47,400	47,400	26,408	20,992
損害保険料	13,400	13,400	3,480	9,920
保健衛生費	117,659	117,659	44,189	73,470
公租公課費	0	0	0	0
備品購入費	2,473,238	2,473,238	2,222,862	250,376
繰出金		0	0	0
予備費		0	0	0
計	11,861,265	11,861,265	8,926,851	2,934,414

## 令和4年度 千代田地域包括支援センター決算(認知)

### 【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
市受託金収入	3,935,468	3,935,468	2,771,584	△ 1,163,884
合計	3,935,468	3,935,468	2,771,584	△ 1,163,884

### 【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	1,590,000	1,590,000	755,200	834,800
職員諸手当	654,000	654,000	744,586	△ 90,586
法定福利費	359,040	359,040	201,725	157,315
臨時職員給与	0	0	35,200	△ 35,200
福利厚生費	4,000	4,000	400	3,600
旅費交通費	45,600	45,600	0	45,600
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	69,260	69,260	62,702	6,558
車輛燃料費	19,920	19,920	9,750	10,170
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	20,000	20,000	6,464	13,536
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	5,560	5,560	0	5,560
通信運搬費	43,600	43,600	36,345	7,255
手数料	56,100	56,100	50,688	5,412
業務委託費	0	0	0	0
賃借料	156,056	156,056	116,908	39,148
研修費	38,000	38,000	7,546	30,454
損害保険料	6,700	6,700	1,160	5,540
保健衛生費	43,220	43,220	1,956	41,264
公租公課費	0	0	0	0
備品購入費	824,412	824,412	740,954	83,458
繰出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
計	3,935,468	3,935,468	2,771,584	1,163,884

## 令和4年度 千代田地域包括支援センター決算(介護予防)

【歳入】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	収入決算額②	差引額 (②-①)
介護保険収入(プランナ-)	1,954,836	1,954,836	1,135,518	△ 819,318
介護保険収入(専門職)	0	0	257,544	257,544
他事業繰入金	0	0	2,460,326	2,460,326
合計	1,954,836	1,954,836	3,853,388	1,898,552

【歳出】

(単位：円)

節	令和4年度予算	最終予算額①	支出決算額②	差引額 (①-②)
職員俸給	975,000	975,000	300,000	675,000
職員諸手当	420,000	420,000	280,000	140,000
法定福利費	223,200	223,200	272,442	△ 49,242
臨時職員給与	0	0	1,310,813	△ 1,310,813
福利厚生費	39,250	39,250	10,060	29,190
旅費交通費	0	0	64,850	△ 64,850
負担金支出	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
消耗品費	11,250	11,250	72,067	△ 60,817
車輛燃料費	14,940	14,940	9,750	5,190
食料費	0	0	0	0
印刷製本費	7,500	7,500	6,463	1,037
光熱水費	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
通信運搬費	20,700	20,700	39,816	△ 19,116
手数料	57,750	57,750	1,020,173	△ 962,423
業務委託費	0	0	0	0
賃借料	155,520	155,520	116,908	38,612
研修費	5,000	5,000	7,546	△ 2,546
損害保険料	8,950	8,950	1,160	7,790
保健衛生費	6,826	6,826	56,196	△ 49,370
公租公課費	0	0	3,200	△ 3,200
備品購入費	0	0	24,400	△ 24,400
繰出金	0	0	257,544	△ 257,544
予備費	8,950	8,950	0	8,950
計	1,954,836	1,954,836	3,853,388	△ 1,898,552

## 令和4年度 四街道市認知症初期集中支援チーム活動実績

## 1. 令和4年度のチームに関する普及啓発

- (1) チラシを新規作成
- (2) 高齢者支援課、地域包括支援センター窓口でのチラシの配布
- (3) 医師会定例会でのチラシの配布
- (4) 認知症初期集中支援チームの啓蒙と認知症への理解を深めるための講座開催
  - ① オンライン開催  
令和4年5月28日(土) 6人参加
  - ② 桜ヶ丘中央コミュニティーセンター・会場とオンラインのハイブリッド開催  
令和4年8月26日(金) 12人参加(会場10人、オンライン2人)
  - ③ わろうべの里・会場とオンラインのハイブリッド開催  
令和4年11月29日(火) 24人参加(会場23人、オンライン1人)

## 2. 認知症初期集中支援の実施

## (1) 支援対象者の状況 (人)

前年度からの引継ぎ数	10
年度内新規訪問支援対象者数	12
支援対象者数	22

## (2) チーム員会議について

開催回数：14回

1回あたりの検討人数：1～3人

## (3) 支援終了者に対する支援状況

年度内支援終了者：15人 終了後の引き継ぎ先 在宅継続 13人

家庭訪問回数：延 103回

家族来所による面談：延 23回

関係機関とのカンファレンスの開催：延 4回

受診同行等：延 13回

## (4) 令和4年度支援終了者の状況 (人)

性別	男	5
	女	10
年齢	65～69歳	1
	70～74歳	1
	75歳～79歳	7
	80歳～84歳	5

	85 歳以上	1
世帯状況	独居	5
	高齢夫婦のみ	7
	その他	3
把握ルート	本人	1
	家族	7
	民生委員	0
	医療機関	1
	警察署	1
	郵便局	1
	配偶者のケアマネジャー	1
	消防署	0
	その他	3
障害自立度	自立	7
	J	4
	A	4
	B	0
	C	0
認知症自立度	I	3
	Ⅱa	7
	Ⅱb	4
	Ⅲa	0
	Ⅲb	0
	Ⅳ	1
	M	0

(5) 支援終了者の支援による状況変化

(人)

		支援開始時	支援終了時
認知症の診断	あり	4	10
	なし	11	5
要介護度	申請なし	13	6
	申請中	1	1
	要支援1	0	0
	要支援2	0	0
	要介護1	1	6
	要介護2	0	2
	要介護3	0	0



	要介護 4	0	0
	要介護 5	0	0
サービス利用	介護保険サービス利用	0	9 (重複利用あり)
	その他のサービス利用	7	5 (重複利用あり)
	サービス利用なし	8	2 (死亡者)

(6) 支援終了者 (15 人) の支援による状況変化及び効果

- ・ 認知症初期かつ病識のある対象者は今後への不安が大きい。対話によるケアや集いの場への参加等で支援を行ったが、頻回に相談の電話があるなど支援が難しかった。制度の利用で解決できる課題がある一方、不安感については精神的支援を行った。
- ・ 認知症状が初期・中期で、家族に介護力がないなど家族自身にも課題がある支援困難な対象者が増加している。対象者と支援者間の関係性構築を図るが公的制度のみでは解決できず、関係機関との連携や地域住民の協力等のインフォーマルサービスの利用等多岐にわたる資源を用いて解決に取り組んだ。例として、当事者をオレンジカフェのボランティアとして活躍の場につなげたり、近隣住民の理解や見守りの協力をいただいた。
- ・ 対象者には地域との関係性が少ない孤立傾向の方がおり、こうした方への支援は頻回な訪問による寄り添いと関係構築が不可欠であった。
- ・ 妄想が強い方の支援は、対象者が医療受診に対しても拒否的なことが多く、間接的に家族指導を行うことが多かった。在宅の支援では症状の改善に至らず、入院、入所を支援した方がいた。
- ・ 当事者の子に障害がある場合に、障害者相談支援事業所と連携して家族全体の支援を行った。
- ・ 千葉県若年性認知症コーディネーターと連携し、情報提供や面談、つどいの会への参加を支援した。
- ・ 金銭管理、書類管理ができない方に対して、対象期間内に制度利用には至らなかったが、成年後見制度利用について検討し、支援した。
- ・ 在宅生活を継続できない対象者がいた。一人は夫婦二人暮らしで、配偶者が転倒し介護が必要となったことから、夫婦で施設に入所した。他の一人は、事故により死亡し支援終了となった。

3. 今後の課題

- ・ 認知症理解の推進のため普及啓発の促進
- ・ 認知症初期の不安を抱える対象者・介護者への支援の充実
- ・ 支援困難な対象者への支援
- ・ 事故発生の予防
- ・ 市内の関係機関との連携の促進

## 予防プランの再委託事業所の承認

○新たな承認事業所は以下のとおりです。

No.	事業所名	所在地	承認理由
	【事業所番号】	承認年月日	
1	居宅介護支援センター ちとせ	千葉県佐倉市生谷75- 10	現在担当している介護支援専門員が当該事業所に着任することとなり、本人及び家族より、引き続き同じ介護支援専門員をお願いしたいとの希望があったため、承認しました。
	【1271700518】	令和5年4月1日	

## 四街道市健康とくらしの調査結果報告

市では、令和4年度に一般社団法人日本老年学的評価研究機構と研究協定を締結し、介護保険事業の政策評価と第9期介護保険事業計画策定に向けた根拠資料を得ることを目的に、以下の通り、「健康とくらしの調査」を行いました。

地域包括支援センターの認知度、利用意向等を伺っているのでご報告いたします。

### 【調査対象者】

四街道市内在住の事業対象者・要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方

### 【調査方法】

郵送による調査票の配布、回収

### 【調査数】

3,000 票          有効回収数（率）2,018票（67,8%）

### 【調査票の内容】

- ①身体状況、健康状態（生活習慣、罹患、転倒状況など）
- ②心理（うつ、幸福度など）
- ③社会（ソーシャル・ネットワーク、ソーシャル・サポートなど）
- ④社会経済的地位（年間世帯所得、世帯人数、教育、年金など）
- ⑤会・グループへの参加（ボランティア、スポーツ、自治会など）
- ⑥地域環境（地域に対する信頼、近所付き合い、治安など）
- ⑦外出（外出頻度、交通手段など）

【問5】「地域包括支援センター」の認知度・利用意向についておうかがいします。

1) 地域包括支援センターを知っていますか？

地域包括支援センターを知っているか聞いたところ、「利用したことがある」は14.8%、「利用したことはないが知っている」は44.2%、「知らない」は38.9%となっている。

年齢別にみると、「利用したことがある」は「85歳以上」で、「知らない」は「65-69歳」で高い。

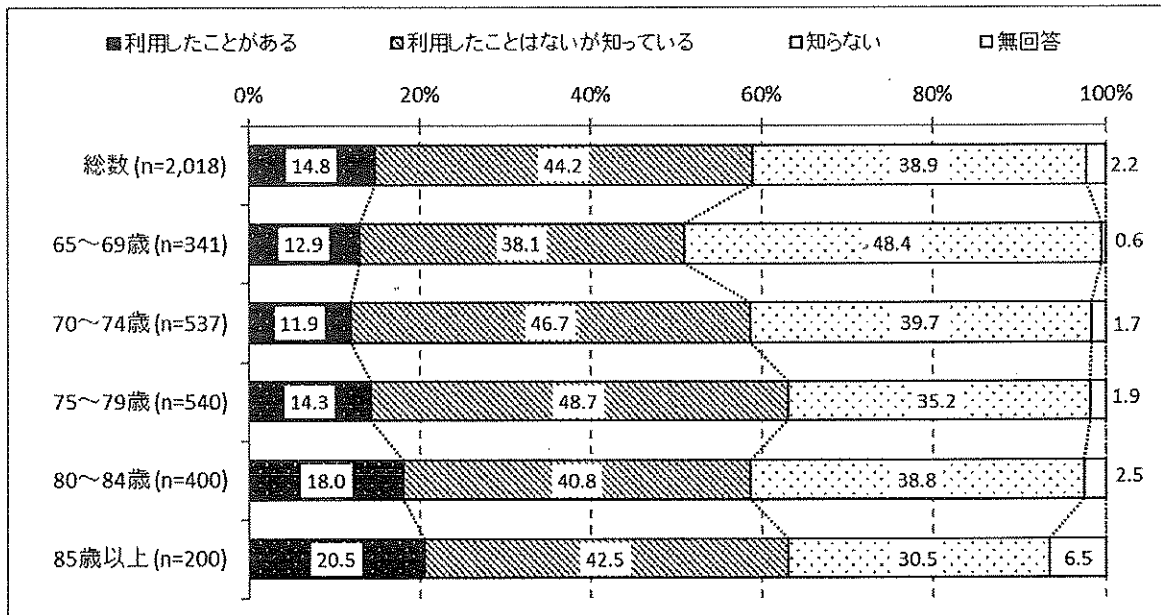


図7 地域包括支援センターの認知度

		サンプル	利用した	利用した	知らない	無回答	
		数	ことがあ	ことはない			
総数		人数	る	が知っ			
		2,018	298	892	784	44	
	%	100.0	14.8	44.2	38.9	2.2	
65～69歳		人数	341	44	130	165	2
	%	100.0	12.9	38.1	48.4	0.6	
70～74歳		人数	537	64	251	213	9
	%	100.0	11.9	46.7	39.7	1.7	
75～79歳		人数	540	77	263	190	10
	%	100.0	14.3	48.7	35.2	1.9	
80～84歳		人数	400	72	163	155	10
	%	100.0	18.0	40.8	38.8	2.5	
85歳以上		人数	200	41	85	61	13
	%	100.0	20.5	42.5	30.5	6.5	

表7 地域包括支援センターの認知度

【問5】

2) 「2. 利用したことはないが知っている」と答えた方へ

あなたに困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思いますか？

地域包括支援センターを利用したことはないが知っていると答えた人（892人）に、困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか聞いたところ、「相談しようと思う」は68.6%、「相談しようと思わない」は6.8%、「わからない」は22.8%となっている。

年齢別にみると、「相談しようと思う」は「85歳以上」で、「わからない」は「70-74歳」でやや高い。

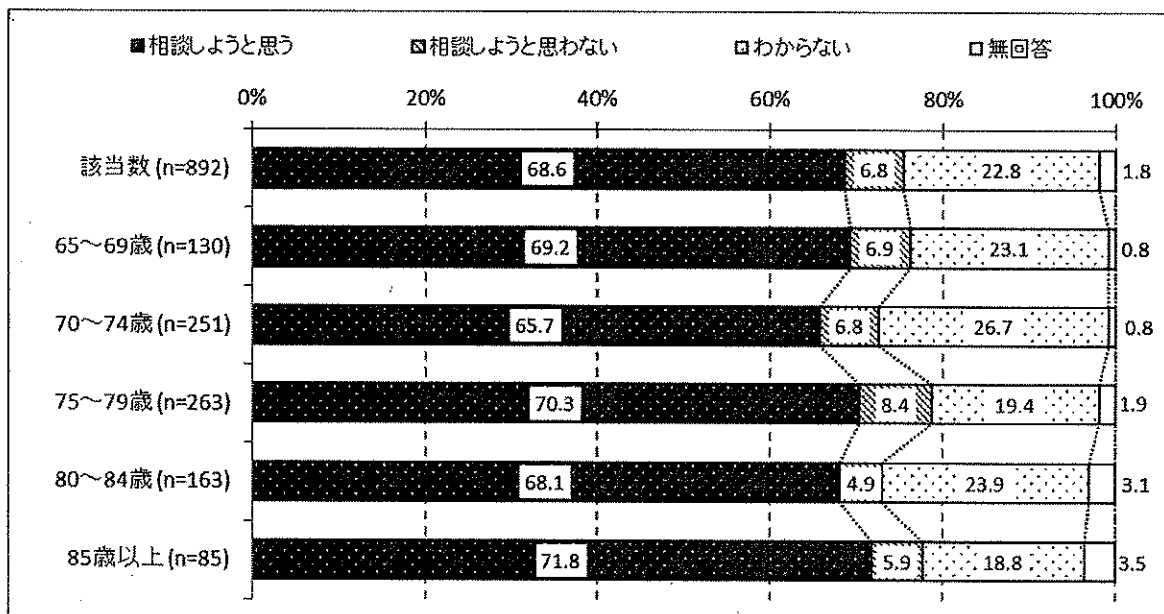


図8 困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

		サンプル数	相談しようと思う	相談しようと思わない	わからない	無回答
該当数	人数	892	612	61	203	16
	%	100.0	68.6	6.8	22.8	1.8
65～69歳	人数	130	90	9	30	1
	%	100.0	69.2	6.9	23.1	0.8
70～74歳	人数	251	165	17	67	2
	%	100.0	65.7	6.8	26.7	0.8
75～79歳	人数	263	185	22	51	5
	%	100.0	70.3	8.4	19.4	1.9
80～84歳	人数	163	111	8	39	5
	%	100.0	68.1	4.9	23.9	3.1
85歳以上	人数	85	61	5	16	3
	%	100.0	71.8	5.9	18.8	3.5

表8 困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思うか

【問5】

3) 「2. 相談しようと思わない」「3. わからない」と答えた方へ

地域包括支援センターに「相談しようと思わない」または「わからない」と答えた理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

困りごとが起きたとき、地域包括支援センターに相談しようと思わない、またはわからないと答えた人(264人)に、理由を挙げてもらったところ、「何をしてくれるところか知らないから」(51.1%)、「どうやって相談したらよいか分からないから」(30.3%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「何をしてくれるところか知らないから」は「70-74歳」で、「担当者と上手に話す自信がないから」は「80-84歳」で高い。「担当者が親身に話を聞いてくれないかもしれないから」と「相談しなくても「なんとかなる」だろうと思うから」は「85歳以上」で高い。

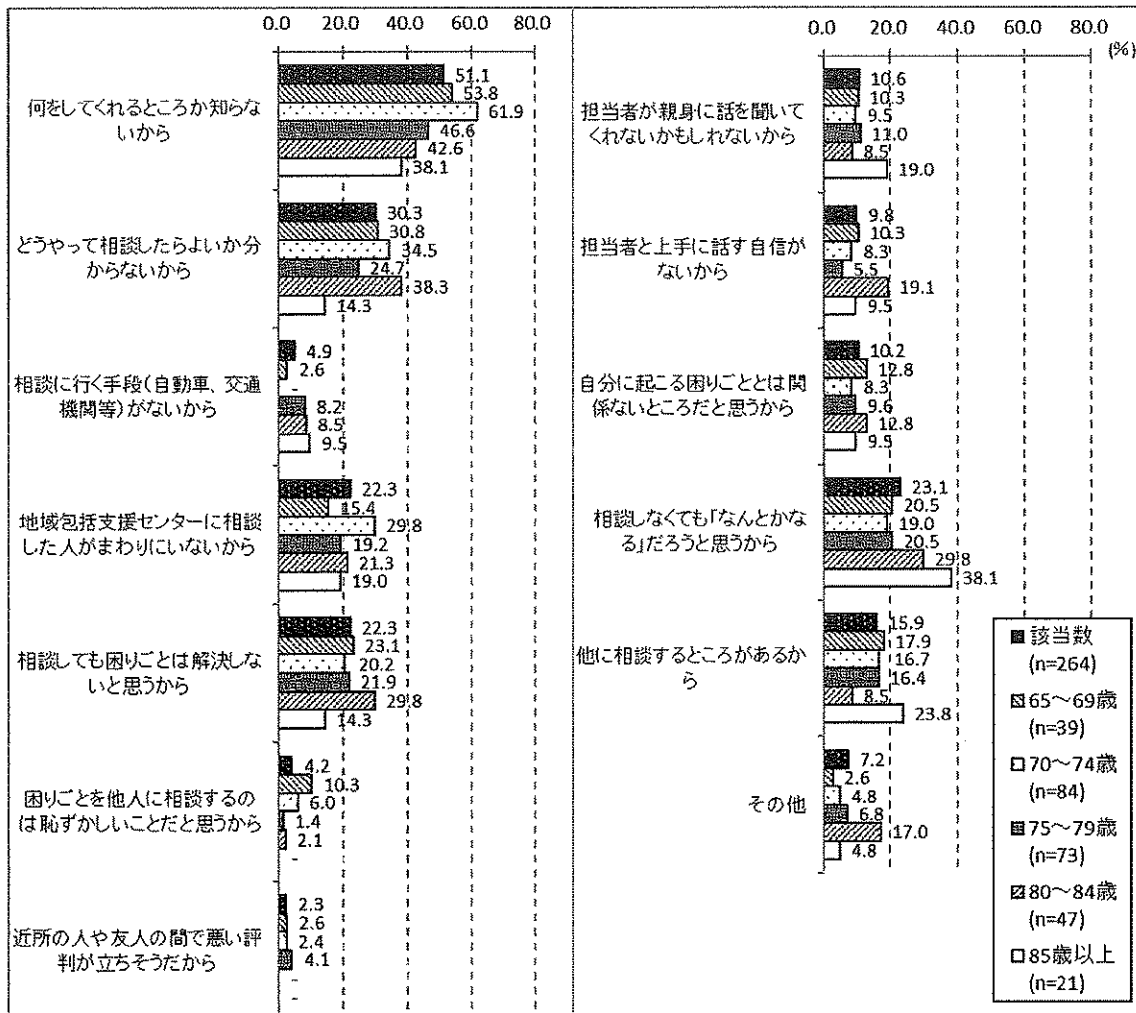


図9 地域包括支援センターに相談しようと思わない、またはわからない理由

		サンプル数	何をしてくれるところか知らない	どうやって相談するか分からない	相談に行く手段がないから	相談した人がまわりにいないから	相談しても解決しないと思うから	他人に相談するのは恥ずかしい	近所の人の中で悪い評判が立ちそう
該当数	人数	264	135	80	13	59	59	11	6
	%	100.0	51.1	30.3	4.9	22.3	22.3	4.2	2.3
65～69歳	人数	39	21	12	1	6	9	4	1
	%	100.0	53.8	30.8	2.6	15.4	23.1	10.3	2.6
70～74歳	人数	84	52	29	-	25	17	5	2
	%	100.0	61.9	34.5	-	29.8	20.2	6.0	2.4
75～79歳	人数	73	34	18	6	14	16	1	3
	%	100.0	46.6	24.7	8.2	19.2	21.9	1.4	4.1
80～84歳	人数	47	20	18	4	10	14	1	-
	%	100.0	42.6	38.3	8.5	21.3	29.8	2.1	-
85歳以上	人数	21	8	3	2	4	3	-	-
	%	100.0	38.1	14.3	9.5	19.0	14.3	-	-
		親身に話を聞いてくれない	担当者と上手に話す自信がないから	自分には関係ないところだと思ふ	相談しなくても「なんとかなる」	他に相談するところがあるから	その他	無回答	回答計
該当数	人数	28	26	27	61	42	19	12	578
	%	10.6	9.8	10.2	23.1	15.9	7.2	4.5	218.9
65～69歳	人数	4	4	5	8	7	1	1	84
	%	10.3	10.3	12.8	20.5	17.9	2.6	2.6	215.4
70～74歳	人数	8	7	7	16	14	4	4	190
	%	9.5	8.3	8.3	19.0	16.7	4.8	4.8	226.2
75～79歳	人数	8	4	7	15	12	5	3	146
	%	11.0	5.5	9.6	20.5	16.4	6.8	4.1	200.0
80～84歳	人数	4	9	6	14	4	8	3	115
	%	8.5	19.1	12.8	29.8	8.5	17.0	6.4	244.7
85歳以上	人数	4	2	2	8	5	1	1	43
	%	19.0	9.5	9.5	38.1	23.8	4.8	4.8	204.8

表9 地域包括支援センターに相談しようと思わない、またはわからない理由